

李 妍エン (Li Yanyan)

専門は、地域社会学、ボランティア・セクター論。2000年3月、博士後期課程修了。博士(社会学)。

ボランティア・セクターを中心にネットワーキングとコーディネートの社会理論。

東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。現在、駒澤大学文学部助教授。

主要業績

論文

- ・2006, 「「社区建設事業の推敲主体に関する考察 一元化から多角化への可能性」『日中社会学研究』第13号。
- ・2006, 「「社会構造の変遷と社区事業の展開」『アジア遊学』第83号。
- ・2004, 「「日本型まちづくりとは何を指すか」西村祐子編著『草の根NPOのまちづくり』第7章。
- ・2004, 「「社区」と「「社団」 「「社区服務」と「「社区建設」政策が開く中国の非営利組織の活動空間」『地域社会学学会年報』。

单著

- ・2002, 『ボランティア活動の成立と展開 日本と中国におけるボランティア・セクターの論理と可能性』ミネルヴァ書房。

共著

- ・2002, (王名・岡室美恵子と共著)『中国のNPO いま、社会改革の扉が開く』第一書林。

共編著

- ・2004, (川崎賢一・池田緑と共編著)『NPOの電子ネットワーク戦略』東京大学出版会。

リンク

- ・[駒澤大学文学部](#)

研究カテゴリ